

8月26日

- 5:15 瀬戸市駅集合、セレモニー
- 6:03 高蔵寺駅 乗り換え ・やはり乗り換えの時間が足らず一つ電車を乗り遅れた
- 6:30 名古屋駅 乗り換え ・ギリギリ間に合う、新幹線で到着
- 8:39 福山駅 乗り換え
- 9:14 尾道駅 到着
- 9:20 尾道港
・レンタサイクル・サイクリングチケット購入 思ったより手続きに時間がかかった
- 9:40 尾道渡船
- 9:50 向島 渡船到着
因島大橋を渡る



【因島大橋 いきなりでっかい橋だ！】

因島

- 12:30 生口橋
・昼食 時間ロスで昼食を予定の場所より手前でとる
多々羅大橋
大三島
・大山神社をまきらめる
大三島橋
- 15:20 伯方島 マリンオアシスはかた チェックインには間に合う
鶏小島キャンプ場到着
- 15:50 鶏小島キャンプ場 設営開始
・3名中2名が米を忘れたことに気づく(後編リストへの記載もれ)
- 16:20 伯方ショッピングセンター 買いだし
- 19:00 夕食片付け
- 21:00 就寝 寝ていたのですぐ寝た
本日の走行距離 68km



【大島からの景色】



【来島海峡大橋】

8月27日

- 5:30 伯方島 鶏小島キャンプ場 起床
- 6:00 朝食
- 6:30 片付け
- 7:35 出発 ・予定より早めに出発
マリンオアシスはかた
伯方・大島大橋

大島

- ・博物館の閉館時間より早くついてしまい帰りに乗ることになる
来島海峡大橋
・帰りのロス、無量公園をまきらめるが、あらかゆるとるが展望場所
- 11:00 今治市 ・温泉探しに特設ロスした
- 12:10 今治浦ノ湯温泉 昼食 ・道の駅の食堂で昼食をとる



【来島海峡 大島側から】

〈隊員報告〉

加藤大輝

■目的、目標に対する評価

今回のプロジェクトは計画に対する変更点が多くあったが、無理せずにプロジェクトを進める判断をした点は良かった点である。変更となった原因として大きいのは体力の限界を考慮していないレベルの高い計画、サイクリング装備の不完全などが上げられる。それらの原因を改善すればよいが、体力の限界に合った計画の点を改善するためには、ルートをもっと考慮し短縮すればよいと思う。

結果としては目的、目標は達成したので満足である。このプロジェクトで学んだことは自分の体力の限界を思い知ったことである。

野村憲司

■目標に対する評価、反省

今回の目標である140kmを自転車で走破できたことは良かった。計画の中にあつた水軍城などを見て行くということが出来なかったのが良かった。

もう少し計画の段階で時間の余裕があるようにした方がよいと思う。荷物を持って走った時の自転車の速度が予測できていなかったから、事前に試しておけば良かった。

良かった点は走っている時に見える海がとても美しく、来て良かったと思えたことだ。ぜひまた再度計画して行きたいと思う。

12:30	ケアハウス今治温泉 プール・温泉
14:15	采島海峡大橋 伯方大島大橋
16:10	鶏小島キャンプ場
16:20	夕食
19:00	就寝
本日の走行距離 95km	



【キャンプ場からの景色 サイトから海が見える】



8月28日

5:30	鶏小島キャンプ場 起床
7:00	朝食
9:00	出発
9:10	伯方SCパーク チェックアウト 大三島橋 生口橋 ・時間余裕なく、水田城を高さからめる
12:30	因島 昼食 コンビニ弁当 ・道端についでに、うどんラーメンのはずだったが・・・



【向島を走行中の加藤くん バテぎみです・・・】



【向島を走行中の水野くん 荷物が大いね〜】

向島

尾道港	尾道 レンタサイクル返却 ・なぜか、かなり時間が来る 本日の走行距離 58km
-----	---

16:30	尾道駅 出発
16:57	福山駅 山陽新幹線
19:29	名古屋 中央線
19:40	大曽根 名鉄瀬戸線
20:25	瀬戸市駅 セレモニー
20:30	解散



【尾道港へ やっと本州へ帰ってきた〜！】

水野祐輔

■目的に対する自己評価

今回の目標の瀬戸内海 140Km 走破は無事達成できた。大きなトラブルや事故、道に迷うことなく安全に走破できたところが良い点です。

悪い点は、走破する中で途中まわる予定だった見学先に時間の都合で一ヶ所もまわれなかったことです。その原因は、計画の際に自転車の速度を予想だけで出してしまい、事前に自転車の速度を計らなかったこと、そして荷物の重さ、道のりのアップダウンが計算されていなかったことが時間のロスの原因でした。

走破自体は100点でしたが、見学できなかった分を引くと今回の目標に対する自己評価は85点くらいです。

■感想

最初、計画している最中は内心、当中キャンプより楽し、走って見るもの見て終わりだと思っていた。しかし、走っていくと軽食をとる地点で着いていなければいけない時間より20分もロスしていました。そこから計画した自転車の速度が大幅に違うことに気づき、このプロジェクトの困難さがどれほどのものかわかりました。

その分、いろいろな協力する部分があり、メンバーとの距離もずいぶん近づけたと思います。

今回のプロジェクトはかなり思い出に残るものになりました。

プロジェクトアワード（高度な野営）取得者

前回の「雪中野営プロジェクト」にて

・植野裕太 ・加藤大輝 ・池松慶紀 ・水野祐輔

今回のしまなみサイクリングでのプロジェクトアワード

取得者

・加藤大輝 ・野村憲司 ・水野祐輔

富士章取得に向けガンバレ！

●植野隊長の評価

2泊3日の長距離サイクリングを、スカウトのみで主体的に実行できました。正直なところ、帰着まで心配は少ないとは言えませんが、スカウト達は、長いみちのりをベダルをこぎ続け、事前準備の甘かった点などが苦難として自分に返ってきて、それを乗り越えることで、また一度むけたのではないかと思います。

それにしても、帰着早々また行く計画をたてている野村君にはびっくりしました。

さあ、楽しさを感じながら、次のプロジェクトに挑戦しよう！